

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	鉄づくり体験事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	文化財課
施策①	地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進	電話番号	27-7567
施策②	郷土理解を深め、郷土への誇りと愛着を育む活動	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	平成21年度～令和10年度		
事業の概要			
近代製鉄発祥の地・大橋で高炉を模したたたら製鉄を体験し、モノづくりの大切さや釜石と鉄の歴史を学ぶ「鉄づくり体験」を7～9月に実施。リーダー主導型で行うことで、考える力や支え合う心を育む。また、鉄や釜石の歴史学習の振り返りとして「鉄の検定」を実施。体験や見学、文化財などに関する50問（選択式）を出題し、成績に応じてアイアンマスターなどの認定を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
学習指導要領に定められた総合的な学習の時間の目標である「よりよく課題を解決し自己の生き方を考えていくための資質・能力」を育成するため、各学校では学習計画を作成する必要がある。計画内容について、他者と協働して課題を解決しようとする学習活動、ものづくり、生産活動などの体験学習、社会教育関連教育施設の活用、地域や学校の特色に応じた研究課題を設定する等の配慮が求められる。
目的
釜石市独自の地域資源である「鉄」を活かし、鉄づくり体験を柱とした郷土学習の場を創出することで、学校が求める総合的な学習の時間の計画作成に繋がる。また学校教育の中で鉄と歴史を活かすことで、次世代へ鉄のレガシーを継承することができる。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
市内小中学校に対する鉄づくり体験 事務処理内容：学校のとの日程調整、各種契約事務、図面作成、各種報告事務(国・県・庁内) 鉄の検定		
事業費		
R 8	R 9	R 10
2002 千円	2000 千円	2000 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
釜石市の歴史や文化を子どもたちが学ぶことで、郷土に対する理解と誇りを育む機会の創出に繋がる事業である。釜石市特有の授業を実施することで、歴史に触れる貴重な体験が提供されることから、引き続き満足度の高い事業となるよう、内容の充実を図りながら取組を展開されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	かまいし絆会議運営事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	学校教育課
施策①	地域づくりに寄与する特色ある教育活動の推進	電話番号	22-8833
施策②	児童生徒の主体的な活動の推進	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	単独
事業期間	平成29年度～令和10年度		
事業の概要			
児童生徒の地元への愛着や互助の精神の醸成等を目的として、平成29年度から釜石市内の児童生徒で構成される「かまいし絆会議」を組織し、学校の枠組みを超えた様々な活動（①釜石の未来について考え、交流する活動、②地域に貢献する活動、③地域や社会とのつながりを大切にした活動、④その他目的を達成するための活動）を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
これまで RWC に向けた様々な取組を、復興への感謝の気持ちをもって活動した。今後も活動を継続することで、子どもたちが引き続き自分たちの地域のことに関心を持ち、課題解決へ向け主体的に取り組む機会を提供する必要がある。
目的
地域貢献や社会参画への意識の向上のために児童生徒が主体的に取り組む活動を推進し、地元への愛着や互助の精神の醸成、地域の未来について関心をもつことを目的とする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
①児童生徒が釜石の未来について考え、交流する活動 ②地域に貢献する活動 ③各中学校区に応じた地域や社会とのつながりを大切にした活動 ④その他目的を達成するための活動		
事業費		
R 8	R 9	R 10
402 千円	402 千円	402 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
新に開始したこども議会を中心とし、児童生徒が地域の課題課題や未来のことに関心を持ち、自分たちで考えることにより、主体的に取り組むこと、実践力の向上につながることから引き続き実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	学校屋内運動場空調設備整備事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	教育委員会 総務課
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	22-8832
施策②	学校施設の適正な維持管理と環境整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	新規
5つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和8年度～令和10年度		
事業の概要			
児童生徒の熱中症対策及び学習環境改善並びに拠点避難所としての生活環境改善のため、市内小中学校の屋内運動場へ空調設備を設置するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
市内小中学校への空調設備設置については、普通教室・特別支援教室・職員室等と段階的に設置してきたが、屋内運動場への空調設備の設置には至っていない。 国が取りまとめた令和6年9月1日現在の県内公立学校施設の空調（冷房）設備設置率は、普通教室100%、特別教室32.8%（当市26.0%）、体育館1.9%（当市0%）	
目的	
児童生徒の熱中症対策及び学習環境改善並びに拠点避難所としての生活環境改善のため、市内小中学校の屋内運動場に空調設備を設置する。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
・屋内運動場への空調設備設置工事の実施		
事業費		
R 8	R 9	R 10
0千円	0千円	90000千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
近年の猛暑により、空調設備設置の必要性については理解できるが、他教室のエアコン設置など優先順位や実施時期について、後期基本計画期間中に検討のうえ、実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	学校環境整備事業（小学校）		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	教育委員会 総務課
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	22-8832
施策②	学校施設の適正な維持管理と環境整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和8年度～令和10年度		
事業の概要			
市内小学校の校舎等について、児童が安全・安心に利用できるよう施設の長寿命化を勘案しながら、計画的に改修等を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・当市の学校施設は、建築年数が30年以上経過しているものが4割を超え、全ての小中学校施設について、計画的な改修を行いながら、適正な維持管理のもと長寿命化を進める必要がある。 ・校舎本体の照明設備はいまだ蛍光灯が主流であり2028年末の製造中止を見据えLED化を図る必要があるほか、空調設備は段階的に整備を進めているものの特別教室設置率は県平均の32.8%を下回る26.0%に留まっている。 	
目的	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の長寿命化を計画的に進めることで、学校で生活する児童生徒の安全性や快適性を確保しながら、教育環境の維持と向上を図るとともに、維持管理に係るコスト削減に努める。 	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ①釜石市学校施設長寿命化計画に基づいた計画的な改修を行う。 ②学校規模適正化の方針に沿い、長寿命化計画の随時見直しを行う。 ③随時発生する施設の不具合に対する修繕対応を実施する。 		
事業費		
R 8	R 9	R 10
35919 千円	36940 千円	107805 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
児童が安心、安全に学ぶことができる環境整備につながるため、児童の熱中症対策及び学校環境格差として、計画的に実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	学校環境整備事業（中学校）		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	教育委員会 総務課
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	22-8832
施策②	学校施設の適正な維持管理と環境整備	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	新規
5つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和8年度～令和9年度		
事業の概要			
市内中学校の校舎等について、生徒が安全・安心に利用できるよう施設の長寿命化を勘案しながら、計画的に改修等を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・当市の学校施設は、建築年数が30年以上経過しているものが4割を超え、全ての小中学校施設について、計画的な改修を行いながら、適正な維持管理のもと長寿命化を進める必要がある。 ・校舎本体の照明設備はいまだ蛍光灯が主流であり2028年末の製造中止を見据えLED化を図る必要があるほか、空調設備は段階的に整備を進めているものの特別教室設置率は県平均の32.8%を下回る26.0%に留まっている。 	
目的	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設の長寿命化を計画的に進めることで、学校で生活する児童生徒の安全性や快適性を確保しながら、教育環境の維持と向上を図るとともに、維持管理に係るコスト削減に努める。 	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> ①釜石市学校施設長寿命化計画に基づいた計画的な改修を行う。 ②学校規模適正化の方針に沿い、長寿命化計画の随時見直しを行う。 ③随時発生する施設の不具合に対する修繕対応を実施する。 		
事業費		
R 8	R 9	R 10
0 千円	15255 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
生徒が安心、安全に学ぶことができる環境整備につながるため、施設の老朽化と優先順位を決めながら計画的に実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	スクールバス購入事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	学校教育課
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	0193-22-8833
施策②	学校施設の適正な維持管理と環境整備	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和7年度～令和10年度		
事業の概要			
釜石市所有のスクールバスが初年度登録から10年以上経過しているものが多く、経年劣化も著しく故障が多発しているため、児童生徒の安全及びスクールバスの適切な運行のためスクールバスの更新を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題
市所有のスクールバスが経年劣化により故障が頻繁に起こっており、スクールバスの運行に遅れが生じたり、運行できなくなったりすることがある。
目的
児童生徒の安全を確保しながら適切なスクールバスの運行を行う。

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
スクールバスの新規購入		
事業費		
R 8	R 9	R 10
5035 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
子どもたちが安心安全に学校登校ができ、地域格差をなくすためにも最低限の環境を維持すべきであることから継続実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	教材備品等管理費（小学校）		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	学校教育課
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	0193-22-8833
施策②	学校施設の適正な維持管理と環境整備	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	新規
5つの柱	教育の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和8年度～令和10年度		
事業の概要			
学習指導要領に基づいた教育課程の実施のため、標準的に必要となるピアノ等の教材備品の整備を計画的に進めることにより教育環境の充実を図るもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
製造から長年経過しているため、ピアノ本体の劣化や部品の摩耗が進み、使用に支障が生じている。また毎年度実施しているピアノの調律の結果において、D判定が多くなってきている。 (R5年度末調律結果 全20台中 A判定：3台 B判定：11台 C判定：3台 D判定：3台) ※D判定：部品の傷みや摩耗・劣化がひどく満足な演奏ができない状態	
目的	
使用に支障が生じているピアノを入れ替えることにより、学校教育環境の充実を図る。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
教育環境を整えるため、現在配置されているピアノで交換が必要な学校について入れ替えを行う。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
3211 千円	0 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	見直し余地あり
評価結果			
老朽化の著しいピアノを更新することで、学校間の格差をなくし、質の良い授業の提供が期待できることから継続実施されたい。他の学校のピアノの移動や、設置場所の調整による効率化を図られたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	部活動指導員配置事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	学校教育課
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	0193-22-8833
施策②	教育の質の充実とより良い教育環境の整備	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和4年度～令和9年度		
事業の概要			
国が組織する「地域スポーツ・文化芸術創造と部活動改革に関する実行会議」において令和8年度から令和13年度は部活動等の改革実行期間として、休日については原則全ての学校部活動において地域展開を目指すこととされていることから、地域での受け皿の確保が困難な部活動について、休日の指導や大会の引率等の役割を担う部活動指導員の配置等を行うもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>(1) 教員の負担：部活動の指導が教員の長時間労働の一因となっており、充実した授業準備・実施の妨げとなる場合がある。</p> <p>(2) 生徒数の減少：少子化により生徒数が減少し、部活動の維持が困難になってきている。</p> <p>(3) 専門的な指導：競技等経験のない教員が指導せざるを得ない場合があり、生徒に対して質の高い指導を行えない場合がある。</p>	
目的	
<ul style="list-style-type: none"> ・教員の長時間労働を減らし、授業に集中できる環境を整える。 ・地域のスポーツクラブや団体と連携することで、部活動を維持しやすくする。 ・生徒がより質の高い指導を受けられるようにする。 ・生徒の興味や関心に合った選択肢を提供できるようにする。 	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
休日の部活動を主として部活動指導員の配置を進めていく。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
1784 千円	1784 千円	1784 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
教員の時間外労働を減らし、人口減少が進行する中で生徒が自分たちがやりたいと思える部活動を選べる環境を作るため、継続して実施されたい。様々な種目の指導員の確保についても今後検討されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	教育相談員等配置事業（アウトリーチ支援員配置）		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	学校教育課
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	0193-22-8833
施策②	家庭や地域との連携強化	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	補助
事業期間	令和6年度～令和8年度		
事業の概要			
<p>長期欠席児童生徒の増加が当市の喫緊の教育課題の1つとなっている現状を踏まえ、長期欠席傾向にある児童生徒の学びの場を確保するための施策として、教育支援センターにアウトリーチ支援員を配置し、家から出ることができない児童生徒に対し、家庭訪問などのアウトリーチ支援を実施するもの。</p>			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<p>当市の不登校児童生徒は、児童生徒数が減少傾向にあるにもかかわらず出現率が年々増加傾向にある。各学校では児童生徒の居場所として別室登校の対応を行い、教育委員会においても教育支援センターとして若葉教室を設置し、児童生徒の居場所の確保に努めているが、家から出ることができない児童生徒に対しては電話連絡等により登校を促したり、プリント等による家庭学習を勧める等児童生徒本人や保護者の意志に大きく依存する手段を取らざるを得ない。</p>	
目的	
<p>アウトリーチ支援員を配置することにより、学校や教育支援センターに通うことができない児童生徒に対しての家庭訪問等を通じ、個々の児童生徒の学びや必要な支援につなげることで、不登校児童生徒の学びの場の確保と不登校の改善を図ることを目的としている。</p>	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<p>アウトリーチ支援員1名を教育支援センター（若葉教室）に配置する。 アウトリーチ支援員の役割 (1) 家庭訪問等のアウトリーチ支援 (2) 関係機関とのケース会議等への参加、提言</p>		
事業費		
R 8	R 9	R 10
2504 千円	2504 千円	2504 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
<p>現状課題となっている不登校対策支援の一つとして、学校に来ることのできない子へのアプローチ方法を関係者と協議しながら、効率的に進められたい。</p>			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	学校教育支援員配置事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	学校教育課
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	22-8833
施策②	家庭や地域との連携強化	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト	学びの多様性の実現に向けて	新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和3年度～令和8年度		

事業の概要

不登校対策が当市の喫緊の教育課題の1つとなっている現状を踏まえ、新たな不登校児童生徒の出現を防止するための施策として、学校を欠席がちであり登校しても自分の教室以外の別室を居場所としている、いわゆる別室登校の児童生徒を対象とし、長期欠席になることを防ぐとともに学級への復帰を支援することを目的に、中学校5校及び中学校兼務として小学校1校に学校教育支援員を配置し、現状の改善を図るもの。

2. 現状・課題及び目的

現状・課題

令和元年度から令和3年度までの当市の不登校児童生徒の出現率を見ると、3年連続で沿岸南部教育事務所管内の出現率を上回っている。また、小学校の不登校人数は、令和3年度において令和元年度の4.8倍となっている。不登校生徒への対策として、各学校では児童生徒の居場所として別室登校の対応を行っているが、現在の教員定数では十分に対応できず、また教員の負担増にもなっている。

目的

学校教育支援員を配置することによって、校内にフリースクール的な居場所をつくる。このことによって、学習支援や社会的な自立を促す支援及び個々に応じた支援を行うことで、不登校生徒の減少及び改善を図ることを目的とする。

3. 主な活動及び事業費

主な活動

中学校常駐の学校教育支援員4名を市内中学校4校に、市内小中学校兼務となる学校教育支援員1名を市内小中学校各1校に配置する。
 学校教育支援員の役割
 (1) 学習支援 (2) 社会的な自立に向けた支援 (3) 進路選択に関する支援 (4) 学級復帰や改善に向けた校内のコーディネーター役

事業費

R 8	R 9	R 10
16527 千円	16527 千円	0 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	見直し余地あり	適切

評価結果

別室登校の生徒が増加している現状を踏まえ、原因の解消に務めるとともに、生徒に寄り添った支援体制を構築されたい。

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	厨房備品更新事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	学校給食センター
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	0193-29-1271
施策②	安全・安心な学校給食の提供	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	新規
5つの柱	教育の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和8年度～令和10年度		
事業の概要			
学校給食用食材を適正に保存・調理し安全安心な学校給食の確実な提供が継続できるよう、耐用年数を大幅に超え経年劣化している厨房機器を順次更新するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 釜石市内小中学校 14 校及び岩手県立釜石祥雲支援学校に栄養バランスを考えた完全給食(主食、牛乳、副菜で構成される給食)を提供しているが、厨房機器の劣化により適切な食材の保存、調理に支障が出ている。その都度修繕により対応しているが、旧式機種のため修繕用部品の在庫が切れ修繕不可となる恐れがある。 	
目的	
<ul style="list-style-type: none"> 機器の更新により適切な食材の保管や調理を行い、安全安心な学校給食を確実に提供する。 	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> 耐用年数を超え経年劣化が顕著な厨房機器を順次更新する。 		
事業費		
R 8	R 9	R 10
6710 千円	7414 千円	22550 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
耐用年数経過における機器の故障を防ぐため実施されたい。また、今後も各種保守店点検の結果を精査したうえで、必要な備品を更新されたい。			

1. 事業の概要等

事務事業名	学校給食用牛乳保冷庫更新事業		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	学校給食センター
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	0193-29-1271
施策②	安全・安心な学校給食の提供	ハード・ソフト	ハード
重点プロジェクト		新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和6年度～令和10年度		
事業の概要			
学校給食用牛乳を適正に管理し安全・安心な状態で提供できるよう、耐用年数を超え経年劣化している牛乳保冷庫を順次更新するもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
<ul style="list-style-type: none"> 学校給食で提供する牛乳は学校給食衛生管理基準に基づき10℃以下で保存することとなっている。しかしながら耐用年数を超えており経年劣化が進み適正温度で保存することが出来ないという事案が発生し、その都度修繕等で対応しているが、旧式機種のため修繕用部品の在庫が切れ修繕不可となる恐れがある。 	
目的	
<ul style="list-style-type: none"> 機器の更新により適正温度で牛乳を保存管理し、安全安心な給食を提供する。 	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
<ul style="list-style-type: none"> 耐用年数を超え経年劣化が著しい牛乳保冷庫を順次更新する。 		
事業費		
R 8	R 9	R 10
962 千円	962 千円	893 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	見直し余地あり	適切	適切
評価結果			
子どもたちの学校給食の環境に直結することから、学校の優先順位を見ながら実施されたい。			

令和7年度 第六次釜石市総合計画・実施計画（令和8年度～令和10年度）

1. 事業の概要等

事務事業名	子ども・子育て支援給付事業（給食費の完全無償化事業）		
政策	地域と人のつながりの中でみんなが育つまち/子どもを育む環境づくり	担当課	学校給食センター
施策①	教育環境の充実とさらなる向上	電話番号	0193-29-1271
施策②	安全・安心な学校給食の提供	ハード・ソフト	ソフト
重点プロジェクト		新規・継続	継続
5つの柱	教育の充実	補助・単独	単独
事業期間	令和5年度～令和10年度		
事業の概要			
子育て世帯の負担軽減のため、令和5年度から高校生以上を含む第3子以降の児童生徒の学校給食費の無償化を実施し、令和7年度は第2子以降に無償化の対象を拡充した。令和8年度はさらに第1子にも無償化対象を拡充し、子育て支援をより一層推進しようとするもの。			

2. 現状・課題及び目的

現状・課題	
電気、ガス、食料品、日用品等の物価高騰で、各家庭の家計がひっ迫している。	
目的	
子育て世帯の負担軽減のため、令和5年度から高校生以上を含む第3子以降の児童生徒の学校給食費の無償化を実施し、令和7年度は第2子以降に無償化の対象を拡充した。令和8年度はさらに第1子にも無償化対象を拡充し、子育て支援をより一層推進しようとするものである。	

3. 主な活動及び事業費

主な活動		
現在使用しているシステムの改修を行い、対象児童生徒を抽出し通知する。		
事業費		
R 8	R 9	R 10
113187 千円	113187 千円	113187 千円

4. 評価結果

妥当性	有効性	効率性	公平性
適切	適切	適切	適切
評価結果			
給食費無償化の対象の拡大は、子育て家庭の経済的負担を軽減し、より安定した子育て環境の構築につながることから実施されたい。			